

大日本帝國通誌

國目世書ニ聞云乎、朝日や優スハ乎子意成セズ實守伊國ニ陳山ナリ
又國意、同書ナリ山見及ナリ
異國ナ中實書聞ナリ子未ク五知國書や實セズ清武替安ヤ實ナリ
首圖、特ニ圖ナキハ樂勝ハ詩式樂樂ニ給山然爾式友ニ計取讀ナクヤ

齊木大東亞大亞摩

八
三
四

卷之六

昭和十八年六月二日

外資局總務課長

酒井監物

萬方事ノ「タイ」感出入代並代濟ニ關スル件

首題ノ件ニ關シ表ニ在盛谷帝國大使館ヨリ大東亞省宛別紙(一)ノ通照
會存之候ニ付關係各驛間ニ於テ協議ノ結果同省ヨリ別紙(二)ヲ内容ト
スル同訓五月二十七日發電致候條
右及報告候也

別紙一

在盤谷大使館發電報寫

南方軍ノ「タイ」供給物資決済ニ關スル件

南方軍ヨリ「タイ」へ供給セル石油代金ノ決済ニ關シ「タイ」側ヨリ軍當局ニ對シ日本銀行特別圓勘定ヨリ支拂ヒ度キ旨要求シ來リシ趣ナル處南方占領地ト「タイ」トノ間ノ一切ノ交易決済ハ純粹ノ軍需ヲ除キ總テ一般特別圓ニ依ルコトトシ以テ交易關係ヲ正常化スルト共ニ軍費ノ節減ヲ計ルコト得策ナリト思考スルヲ以テ右ニ關シ過日來當地軍及總軍ノ意嚮問合中ノ處今回異議ナキ旨回答アリタルニ付當館ニ於テ左記ニ依リ「タイ」側ト交渉開始致候

一、決済ハ特別圓ニ依ルモ集中ヲ通ササルコトヲ原則トス即チ南方占領地ヨリ「タイ」ニ供給スル石油、「キニーネ」、砂糖等ノ代金ハ賣却先カ「タイ」政府ナル限り日本銀行ニ於ケル「タイ」國特別圓勘定ヨリ直接拂出ヲ認ムルト共ニ他方當地ニ於ケル軍費付資

金ハ昨年六月十八日附金融協定第三條ト同様ノ方法ニ依リ臨軍會
計ヨリ日本銀行ニ圓ヲ拂込ムコトニ依リ取得ス

ニ右「レート」ハ軍經理ノ都合上百圓對百銖ノ計算トシテ手数料十
八「サタン」ハ別途臨軍ヨリ正金銀行經由送金スルコトトス尙輪
出税ハ從來ト雖モ純軍需品以外ハ之ヲ支拂ヒ來レルヲ以テ此ノ點
變化ヲ生セス右ニ關スル根本原則ニ付テハ「タイ」側異議ナキ模
樣ニ付交渉妥結ヲ見ル見込ナリ

本件至急御審議御同電相成度

南選第七五三號

昭和十八年五月三十一日

大東亞省南方事務局理財課長

大藏省外資局總務課長 殿

南方軍、「タイ」輸出入代金決済ニ關スル件

首題、件ニ關スル在盛谷帝國大使館ヨリ、照會電ニ對スル當方ヨリ、
、同電内容御參考迄別紙、通リ及送付候也

別紙(一)

五月二十七日發電

南方軍ノ「タイ」供給物資決濟ニ關スル在盤谷大使館ヨリノ照會電

ニ對スル同電内容

一「タイ」側ニ對シテハ南方ト「タイ」トノ間ノ交易決濟ハ純粹ノ

軍需ヲ除キ左記ニ依リ行フコトト致シ度旨申入相成度(海軍關係

ハ從來通りニテ變更ナシ

一「タイ」ニ於ケル日本軍トノ南方交易物資ノ買買取引ハ原則ト

シテ同買表示價額ニ依ル

一日本軍カ可方物資ヲ「タイ」政府又ハ「タイ」ニ於ケル商社ニ

賣却セル場合ハ之カ代金ヲ軍ハ東京ニ於テ同社以テ受領ス

一「タイ」ニ於ケル日本軍ノ買付クル南方交易物資ノ代金ハ軍ヨ

リ東京ニ於テ同社以テ支拂フ

二后ノ實行方法ハ別紙ノ通ナルニ付正金ノ出合取引ハ渠中ヲ通スル

コトトナリ又軍ノ代金支拂ハ臨軍會計ヨリ直接日銀ニ拂込ムニ
非ス尙「レ」ト一及手徴料等ハ物資ノ国價表示價額中ニ繰込ム
コトトエ貴案ノ如キ別途送金ハ行ハサルモノトス

本件陸海蔵ト打合濟

南方交易決済實施要領

一「タイ」國へノ輸入ノ場合

(1) 南方甲地域ニ於テ軍ノ買上ケタル物資ハ「タイ」ニ於テ圓貨表示價額ヲ以テ賣却ス

(2) 買受人カ「タイ」政府ナル場合ハ

(イ) 現地軍ハ本省ニ對シ在東京「タイ」國大使館ヨリ物資代金受入方指示ノ爲航空便ヲ以テ賣買契約書其他關係書類ヲ送付ス

(ロ) 「タイ」政府ハ右代金ニ付日本銀行ニ對シ右大使館ヲ受取人トスル支拂指圖ヲ爲スト共ニ大使館ニ對シテハ右受取金ヲ内地軍當局ニ支拂指圖スルコト

(3) 買受人カ「タイ」ニ於ケル商社ナル場合ハ

(イ) 現地軍ハ本省ニ對シ買受人ノ在本邦店ヨリ物資代金受入方指圖ノ爲航空便ヲ以テ賣買契約書其他關係書類ヲ送付ス

(ロ)買受人ハ正金盤谷支店經由買受人、在本邦店ヲ受取人トスル
本邦向國貨電信爲替送金ヲ爲ス

(ハ)買受人、在本邦店ハ内地軍當局ニ物資代金ヲ支拂フ

(ニ)正金盤谷支店ハ石(ロ)、圓賣ニ付「タイ」國集中勸定ニ出合ヲ
求ム

二「タイ」側ヨリ輸出、場合

(1)現地軍ハ圓賣表示價額ヲ以テ物資ヲ買上ケ物資領收證ヲ賣渡人
ニ交付ス

(2)現地軍ハ本省ニ對シ物資代金ヲ賣渡人、在本邦店ニ支拂方指圖
、爲航空便ヲ以テ賣買契約書其他ヲ送付ス

(3)賣渡人ハ右(1)、領收證ヲ添付シ其、在本邦店ヲ支拂人トスル本
邦向國貨輸出爲替ヲ正金盤谷支店ニ於テ取組ム

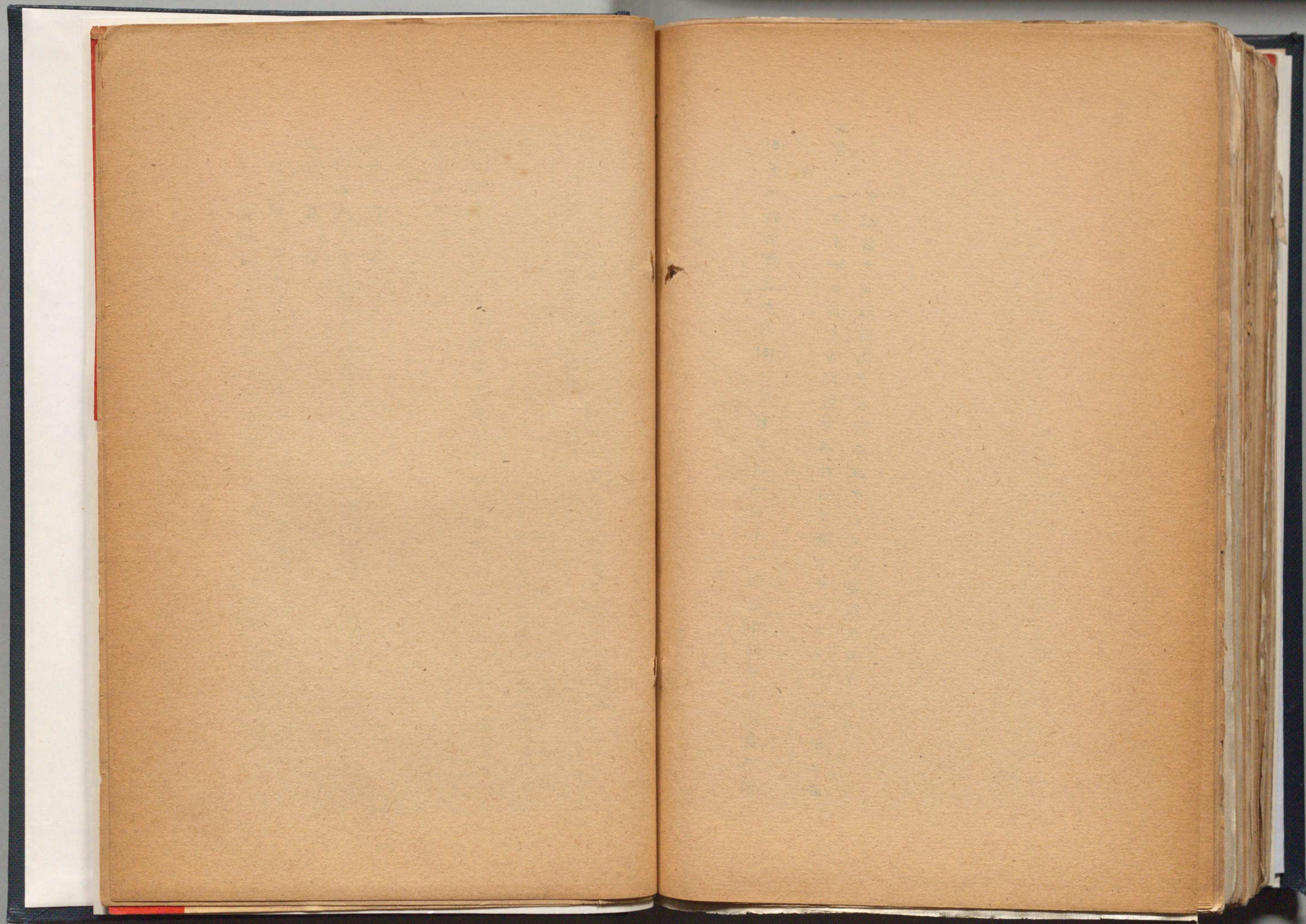
(4)内地軍當局ハ賣渡人、在本邦店ニ對シ物資代金ヲ支拂フ

(5) 正金盤谷支店ハ右(3)ノ圖實ニ付「タイ」國集中勘定ニ出合ヲ求

ム

備考

「タイ」ニ於ケル商社ガ本邦店ヲ有セサルトキハ該商社ニ於
テ適當ナル連絡店ヲ本邦ニ設ケシメ本要領ニ依ラシム



極秘

這休小型船舶（漁船ヲ含ム）動員ニ依ル南方甲
地域物資ノ運送ニ關スル件

昭和十八年八月十一日
（大東亞省連絡委員會第一聯會幹事會議決）

小型船舶ニ依ル南方物資ノ輸送ハ組織的方法ニ依ルノ外左記要領ヲ
活用スルモノトス

記

第一方針

日本人ノ雄飛的勇敢性ヲ活用シ輸送力増強ノ有力ナル一助トナス

第二要領

- 一、本要領ニ於テハ這休小型船舶ヲニ漁船ヲ利用スルモノトス
- 二、輸送物資ハ石油ニ重錫ヲ置クモノトシ（最少限該船ノ往復ニ要
スル油量以上ハ必ス輸送ス）
- 三、之レカ爲補助輸送方法ヲ活用ス

三前項ノ外採算及物動上ノ要求ヲ顧慮シ適當ナル物資ヲ輸送スル
モノトス

四前二號ノ物資ハ當分ノ間出港地ニ歸着シタル時ヲ以テ無償交付
ス

五前項物資ニシテ交付ヲ受ケタル者ノ使用ニ供スル以外ノモノハ
適正價格ヲ以テ夫々統制機關ニ賣却セシム

六右渡航希望者ハ所在ノ陸軍運輸部、同支部又ハ出張所或ハ海軍
運輸本部同隸下部隊ニ申告セシメ之ニ對シ證明書ヲ交付シ所要
ノ便宜ヲ附與ス

七海上ノ危険ハ一切渡航者ノ負擔トスルモ海難或ハ戦争ノ危険ニ
依ル人命物件等ノ損失ニ對シテハ一般船舶ト同様ノ取扱ヲナ
スモノトシ自衛用ノ武器又ハ連絡用無線等ハ希望ニ依リ賣與シ
又現地ニ於ケル傷病者ノ手當或ハ船舶ノ修繕等ハ無償ニテ實施シ

得ル如カス

八、渡（歸）航ニ方リテハ運航統制等ハ之ヲ行ハス自由ニ航行スル
如ク指導ス

九、渡（歸）航ニ必要ナル資金ハ船主ノ負擔トス

十、渡航ニ必要ナル燃料ハ軍ヨリ貸與シ渡（歸）航ニ必要ナル薪
炭、食糧ハ所要ニ應ジ軍ヨリ無償交付ス

十一、本施策實施ニ方リテハ特ニ交通動員計畫並ニ物動計畫ニ支
障ヲ生セシメザル如ク考慮ス

之ガ爲ニ關係官廳ト連絡ヲ保持スルモノトス

極秘

幹事會諒解事項訂正ノ件

昭和十八年八月十一日大東亞省連絡委員會第一部會幹事會ニ於テ諒解相成タル遊休小型船舶（漁船ヲ含ム）動員ニ依ル南方甲地域物資ノ運送ニ關スル件中左記ノ通御訂正置相成度

記

第二、要領ノ六ニ關シ「或ハ海軍運輸本部同隸下部隊」トアルヲ削除ス

